

国立国語研究所学術情報リポジトリ

文化庁「各地方言収集緊急調査」方言談話資料について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/3732

文化庁「各地方言収集緊急調査」方言談話資料について

井上文子（国立国語研究所）

（要旨）

「各地方言収集緊急調査」は、1977～1985 年度に、文化庁が実施した全国規模の方言談話の収録事業である。「全国的に急速に変化し、失われつつある各地の方言を各都道府県において、緊急に調査し、これを記録・保存する」目的でおこなわれた。

収録対象は、全都道府県の方言による自由会話、場面設定の会話、民話などの談話である。47 都道府県を、実施時期ごとに、第 1 次(1977～1979 年度)から第 7 次(1983～1985 年度)に分け、それぞれ 3 年計画で収録した。各都道府県において、それぞれ 5 地点程度を選定し、1 地点につき 1 年度あたり 10 時間程度の方言会話を録音し、そのうち、自然な方言会話の部分を 3 時間程度選んで、文字化をおこない、共通語訳をつけて、記録として残す、というものであった。

その録音と文字化・共通語訳は、日本全国の方言談話のカセットテープと、談話の一部を文字化した手書き原稿として、各都道府県教育委員会から文化庁に提出され、その後、国立国語研究所に移管された。

国立国語研究所では、「各地方言収集緊急調査」資料の一部をデジタル化し、

・国立国語研究所編（2001-2008）『国立国語研究所資料集 13 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』全 20 巻 [各巻：冊子 1 冊+CD-ROM1 枚+CD1 枚] 国書刊行会

・「日本語諸方言コーパス (COJADS)」(<https://www2.ninjal.ac.jp/cojads/>)

として公開しているが、さらなる活用と迅速な公開を目指して、下記のプロジェクトが共同で、方言談話の音声とテキストのデータ整備を進めている。

・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所 共同研究プロジェクト「消滅危機言語の保存研究」（プロジェクトリーダー：山田真寛）

・JSPS 科研費 22HP8004 研究成果公開促進費データベース「日本の危機言語・方言データベース」（代表者：井上文子）

・JSPS 科研費 20H00015 基盤研究 (A) 『『全国方言文法辞典』データベースの拡充による日本語時空間変異対照研究の多角的展開』（研究代表者：日高水穂）

・JSPS 科研費 21H04351 基盤研究 (A) 「日本語諸方言コーパスによる方言音調の比較類型論的研究」（研究代表者：木部暢子）

・「みんなで談話整備プロジェクト 文化庁「各地方言収集緊急調査」資料の整備と活用」(<https://sites.google.com/view/danwaseibi/>)

「各地方言収集緊急調査」は、1977(昭和 52)～1985(昭和 60)年度に、文化庁が実施した全国規模の方言談話の収録事業である。「全国的に急速に変化し、失われつつある各地の方言を各都道府県において、緊急に調査し、これを記録・保存する」目的でおこなわれた。国立国語研究所は、文化庁の要請により、この調査の計画段階から指導・助言などにかかわっていた。

文化庁は、全国の都道府県教育委員会に各地方言の収集を指示した。47 都道府県は、実施時期

ごとに、第1次(1977(昭和52)～1979(昭和54)年度)から第7次(1983(昭和58)～1985(昭和60)年度)に分けられ、それぞれ3年計画で収録を実施した。

各都道府県教育委員会は、言語学・国語学・方言学の専門家から調査員として、主任調査員2名と調査員若干名を選出し、さらに、専門家や学識経験者を交えて、調査地点、具体的な調査方法、全国共通の場面設定会話項目などについて検討し、その結果をもとに調査を進めた。

その実施の概要は次のようなものである。

(1) 調査目的

全国的に急速に変化し、失われつつある各地の方言を各都道府県において、緊急に調査し、記録・保存する。自然な方言会話を良質な録音で採録し、後世に残す。

(2) 調査方法

(3)の調査内容にしたがって、1地点につき1年度あたり10時間程度の方言会話を良質な録音で採録する。そのうち、自然な方言会話の部分を3時間程度選んで、文字化を行い、共通語訳をつけて、記録として残す。

(3) 調査内容

①老年層の男女各1人による対話、または、男女を含む3人の会話(2時間)

②老年層の男性2人の対話、または、老年層の男性3人の会話(1時間)

③老年層の女性2人の対話、または、老年層の女性3人の会話(1時間)

④老年層と若年層との対話、または、両者を含む3人の会話(1時間)

⑤老年層の男性2人の、目上の者と目下の者の対話(2時間)

⑥場面設定の対話(1時間、各場面につき1～3分程度)

場面に応じて、老年層の男性2人の対話、または、老年層の男女各1人による対話

⑦当該地域に伝わる民話(1時間)

民話の語り手が存在する地点で収録を行う。収録不可能な場合は、

⑧老年層の女性2人の、目上の者と目下の者の会話(1時間)

または、

⑨目上の老年層の男性と目下の老年層の女性の、2人の対話(1時間)

を収録する。

①～⑤、⑧、⑨については、話題は自由。一般的には、「調査地の現況・変遷」「気候」「天災などの思い出」「こどもの頃の遊び」「仕事」「土地の生業」「出稼ぎ」「家事」「こどもの養育」「生活の変遷」「生活の中の楽しみ」「自慢話」「衣」「食」「住」「婚礼などの風俗」「信仰」「年中行事」「村の将来」「若者観」など。

⑥は、自然談話では得にくい各種の表現を得ることを目的として、特定場面を設定し、話者に「演技的対話」をさせる。「訪問」「辞去」「道でのあいさつ」「出産」「婚礼」「葬式」などの各種のあいさつ、「依頼」「指示」「助言」「買物」「勧誘」などの各種場面を設定する。具体的には、文化庁と各都道府県教育委員会が協議して、全国共通の数場面を設定する。

(4) 調査地点

調査地点は、各都道府県について5地点程度を選定する。文化庁および地元方言研究者の意見を聞いて、各都道府県教育委員会が決定する。

方言区画上、複数の区域に分かれる場合は、方言の状況が概観できるように、それぞれの区域から収録地点を選ぶ。特に、離島など、特色の認められる方言は可能な限り収録する。(本稿末尾につけた「各地方言収集緊急調査」地点一覧を参照。)

(5) 話者

その土地で生まれ育ち、よその土地に住んだことのない、あるいは、よその土地に住んだことがあっても、その期間が短い人とする。在外期間は3年以内が望ましい。

年齢は、原則として、老年層の場合は、収録時において60歳以上とし、若年層の場合は、20～30歳代とする。

話者相互の立場はほぼ対等であることを原則とする。

(6) 録音

自然な会話を良質な録音で残すため、使用する録音機の性能、マイクの種類・配置、テープの長さ、収録場所の音環境などに注意する。

録音テープ記録票には、採録地点、採録年月日、話題、時間、話者、採録機種などを記入する。

録音テープは、収録したオリジナルのテープ(正)を1本、正テープより文字化部分を編集したテープ(副)を2本作成する。

(7) 文字化

方言音声の文字化の際の表記は、原則として、カタカナ書きとし、方言の音声的特徴をある程度表し得るよう工夫する。文字化に対応する共通語訳をつける。文字化内容について、場面・文脈・特徴的音声・方言形の語義・用法などについての注記、表記法についての説明などを行う。各地点ごとに、収録地点の方言の特色について解説する。収録地点の位置・交通・地勢・行政区画の変動・戸数・人口・産業など、収録地点の概観について記述する。録音内容記録票には、話者の氏名・性・生年・経歴、録音内容などを記入する。

文字化原稿は、手書きのオリジナル原稿(正)を1部、正の複製(副)を2部作成する。

調査は、各都道府県教育委員会と連携のうえ、全国各地の方言研究者が全面的に協力しておこなわれた。その結果、地域的密度、収録量、方言的内容のいずれの面からも、他に類を見ない高レベルのデータを得た。

調査終了後、これらの方言談話の録音テープとその文字化原稿は、各教育委員会から、「各地方言収集緊急調査」報告として、文化庁に提出され、永久保存されることとなった。

「各地方言収集緊急調査」報告資料は、方言の使用実態を解明する貴重なデータであるとともに、急速に失われつつある各地の伝統的方言を、文化財として記録・保存するという意味においても意義のあるものである。

いくつかの教育委員会が、この資料の一部を用いて、独自に報告書を刊行しているが、市販はされておらず一般には入手しにくいものとなっている。また、その形態は印刷物で、電子化された文字化テキストを備えたものはなかった。録音テープを添付しているものも少数であった。「各地方言収集緊急

調査」報告資料のほとんどは、まったくの未公開となっていた。

その後、「各地方言収集緊急調査」報告資料は、文化庁から国立国語研究所に移管された。国立国語研究所では、受け継いだ録音テープと文字化原稿を有効に利用するために、方言談話の大規模なデータベースを計画した。「各地方言収集緊急調査」報告資料の一部をデジタル化して整備し、

- ・国立国語研究所編（2001-2008）『国立国語研究所資料集 13 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』全 20 巻 [各巻：冊子 1 冊+CD-ROM1 枚+CD1 枚] 国書刊行会
（※国立国語研究所学術情報リポジトリ (<https://repository.ninjal.ac.jp/>) で冊子の PDF を公開）

- ・「日本語諸方言コーパス (COJADS)」 (<https://www2.ninjal.ac.jp/cojads/>) として公開している。

2022(令和 4)年度からは、さらなる活用と迅速な公開を目指して、下記のプロジェクトが共同で、方言談話の音声とテキストのデータ整備を進めている。

- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所 共同研究プロジェクト「消滅危機言語の保存研究」（プロジェクトリーダー：山田真寛）
- ・JSPS 科研費 22HP8004 研究成果公開促進費データベース「日本の危機言語・方言データベース」（代表者：井上文子）
- ・JSPS 科研費 20H00015 基盤研究 (A) 『『全国方言文法辞典』データベースの拡充による日本語時空間変異対照研究の多角的展開』（研究代表者：日高水穂）
- ・JSPS 科研費 21H04351 基盤研究 (A) 「日本語諸方言コーパスによる方言音調の比較類型論的研究」（研究代表者：木部暢子）
- ・「みんなで談話整備プロジェクト 文化庁「各地方言収集緊急調査」資料の整備と活用」 (<https://sites.google.com/view/danwaseibi/>)

※「各地方言収集緊急調査」の詳細については、以下を参照。

- ・国立国語研究所編（2001-2008）『国立国語研究所資料集 13 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』全 20 巻 [各巻：冊子 1 冊+CD-ROM1 枚+CD1 枚] 国書刊行会（巻末「公開と作成の経緯」の「各地方言収集緊急調査」について）」
- ・国立国語研究所学術情報リポジトリ (<https://repository.ninjal.ac.jp/>) で公開している上記冊子 PDF
- ・「みんなで談話整備プロジェクト 文化庁「各地方言収集緊急調査」資料の整備と活用」 (<https://sites.google.com/view/danwaseibi/>) の「資料概要」

「各地方言収集緊急調査」地点一覧

北海道

- 01a 空知支庁樺戸郡新十津川町
- 01b 十勝支庁中川郡豊頃町
- 01c 渡島支庁亀田郡楸法華村（→函館市）
- 01d 渡島支庁松前郡松前町

青森県

- 02a 下北郡川内町（→むつ市）
- 02b 北津軽郡市浦村（→五所川原市）
- 02c 上北郡野辺地町
- 02d 三戸郡五戸町
- 02e 弘前市

岩手県

- 03a 久慈市
- 03b 宮古市
- 03c 遠野市
- 03d 大船渡市
- 03e 一関市

宮城県

- 04a 本吉郡本吉町・歌津町（→南三陸町）
- 04b 栗原郡築館町（→栗原市）
- 04c 仙台市
- 04d 亶理郡亶理町
- 04e 刈田郡七ヶ宿町

秋田県

- 05a 鹿角市
- 05b 能代市
- 05c 仙北郡西木村（→仙北市）
- 05d 河辺郡雄和町（→秋田市）
- 05e 湯沢市

山形県

- 06a 新庄市
- 06b 寒河江市
- 06c 東田川郡櫛引町（→鶴岡市）

- 06d 東田川郡朝日村（→鶴岡市）
- 06e 西置賜郡飯豊町・東置賜郡川西町

福島県

- 07a いわき市
- 07b 大沼郡会津高田町（→会津美里町）
- 07c 大沼郡昭和村

茨城県

- 08a 高萩市
- 08b 久慈郡里美村（→常陸太田市）
- 08c 水戸市
- 08d 鹿島郡大野村（→鹿嶋市）
- 08e 古河市

栃木県

- 09a 大田原市
- 09b 日光市
- 09c 宇都宮市
- 09d 芳賀郡益子町
- 09e 安蘇郡田沼町（→佐野市）

群馬県

- 10a 利根郡片品村
- 10b 吾妻郡六合村
- 10c 前橋市
- 10d 邑楽郡大泉町
- 10e 甘楽郡下仁田町

埼玉県

- 11a 加須市
- 11b 南埼玉郡宮代町
- 11c 春日部市
- 11d 児玉郡上里町
- 11e 秩父郡長瀬町
- 11f 入間郡大井町（→ふじみ野市）

千葉県

- 12a 海上郡飯岡町（→旭市）
- 12b 印旛郡印西町（→印西市）

12c 長生郡長生村

12d 木更津市

12e 館山市

東京都

13a 台東区

13b 西多摩郡檜原村

13c 大島町

13d 三宅村

13e 八丈町

神奈川県

14a 愛甲郡愛川町

14b 横須賀市

14c 秦野市

14d 小田原市

新潟県

15a 村上市

15b 西蒲原郡分水町（→燕市）

15c 十日町市

15d 糸魚川市

15e 佐渡郡佐和田町（→佐渡市）

富山県

16a 黒部市

16b 富山市

16c 氷見市

16d 砺波市

16e 東礪波郡上平村（→南砺市）

石川県

17a 羽咋郡押水町（→宝達志水町）

福井県

18a 坂井郡芦原町（→あわら市）

18b 勝山市

18c 南条郡南条町（→南越前町）

18d 敦賀市

18e 遠敷郡名田庄村（→大飯郡おおい町）

山梨県

- 19a 塩山市 (→甲州市)
- 19b 大月市
- 19c 韮崎市
- 19d 南巨摩郡早川町 [奈良田]
- 19e 南巨摩郡身延町

長野県

- 20a 下水内郡栄村
- 20b 長野市
- 20c 小諸市
- 20d 伊那市
- 20e 木曾郡開田村 (→木曾町)

岐阜県

- 21a 高山市
- 21b 大野郡白川村
- 21c 中津川市
- 21d 岐阜市
- 21e 揖斐郡徳山村 (→揖斐川町)

静岡県

- 22a 静岡市
- 22b 榛原郡本川根町 (→川根本町)
- 22c 磐田郡水窪町 (→浜松市)
- 22d 賀茂郡松崎町
- 22e 浜名郡新居町

愛知県

- 23a 北設楽郡設楽町
- 23b 西春日井郡師勝町 (→北名古屋市)
- 23c 岡崎市
- 23d 豊橋市
- 23e 常滑市

三重県

- 24a 安芸郡美里村 (→津市)
- 24b 阿山郡阿山町 (→伊賀市)
- 24c 志摩郡阿児町 (→志摩市)

24d 北牟婁郡海山町（→紀北町）

24e 南牟婁郡御浜町

滋賀県

25a 長浜市

25b 高島郡安曇川町（→高島市）

25c 神崎郡能登川町（→東近江市）

25d 大津市

25e 甲賀郡甲賀町（→甲賀市）

京都府

26a 中郡峰山町（→京丹後市）

26b 舞鶴市

26c 船井郡丹波町（→京丹波町）

26d 京都市

26e 相楽郡山城町

大阪府

27a 高槻市

27b 大阪市

27c 八尾市

27d 河内長野市

27e 泉佐野市

兵庫県

28a 豊岡市

28b 朝来郡生野町（→朝来市）

28c 神戸市

28d 相生市

28e 洲本市

奈良県

29a 大和郡山市

29b 宇陀郡榛原町（→宇陀市）

29c 五條市

29d 吉野郡下北山村

29e 吉野郡十津川村

和歌山県

30a 那賀郡岩出町・打田町・桃山町

(→岩出市・紀の川市)

- 30b 和歌山市
- 30c 御坊市
- 30d 田辺市
- 30e 新宮市

鳥取県

- 31a 鳥取市
- 31b 米子市
- 31c 日野郡日野町

島根県

- 32a 仁多郡仁多町 (→奥出雲町)
- 32b 出雲市
- 32c 浜田市
- 32d 隠岐郡西郷町 (→隠岐の島町)
- 32e 隠岐郡西ノ島町

岡山県

- 33a 勝田郡勝央町
- 33b 新見市
- 33c 岡山市
- 33d 小田郡矢掛町
- 33e 笠岡市

広島県

- 34a 三次市
- 34b 府中市
- 34c 広島市
- 34d 因島市 (→尾道市)
- 34e 安芸郡倉橋町 (→呉市)

山口県

- 35a 萩市
- 35b 大島郡大島町 (→周防大島町)
- 35c 徳山市 (→周南市)
- 35d 美祢市
- 35e 豊浦郡豊北町 (→下関市)

徳島県

- 36a 鳴門市
- 36b 阿南市
- 36c 美馬郡脇町（→美馬市）
- 36d 海部郡海南町（→海陽町）
- 36e 三好郡東祖谷山村（→三好市）

香川県

- 37a 小豆郡土庄町
- 37b 木田郡三木町
- 37c 丸亀市
- 37d 仲多度郡多度津町
- 37e 観音寺市

愛媛県

- 38a 越智郡大三島町（→今治市）
- 38b 西条市
- 38c 松山市
- 38d 大洲市
- 38e 宇和島市

高知県

- 39a 室戸市
- 39b 高知市
- 39c 高岡郡檜原町
- 39d 幡多郡三原村

福岡県

- 40a 北九州市
- 40b 遠賀郡芦屋町
- 40c 築上郡新吉富村（→上毛町）
- 40d 飯塚市
- 40e 嘉穂郡稲築町（→嘉麻市）
- 40f 福岡市
- 40g 八女市

佐賀県

- 41a 東松浦郡鎮西町（→唐津市）
- 41b 鳥栖市
- 41c 佐賀市
- 41d 武雄市

長崎県

- 42a 壱岐郡芦辺町（→壱岐市）
- 42b 平戸市
- 42c 長崎市
- 42d 南松浦郡奈良尾町（→新上五島町）

熊本県

- 43a 阿蘇郡阿蘇町（→阿蘇市）
- 43b 熊本市
- 43c 球磨郡錦町
- 43d 天草郡天草町（→天草市）

大分県

- 44a 東国東郡国東町（→国東市）
- 44b 宇佐市
- 44c 大分郡挾間町（→由布市）
- 44d 佐伯市
- 44e 日田郡前津江村（→日田市）

宮崎県

- 45a 延岡市
- 45b 東臼杵郡椎葉村
- 45c 宮崎市
- 45d 北諸県郡山田町（→都城市）
- 45e 日南市

鹿児島県

- 46a 出水市
- 46b 揖宿郡穎娃町
- 46c 熊毛郡上屋久町
- 46d 大島郡龍郷町

沖縄県

- 47a 国頭郡今帰仁村
- 47b 那覇市
- 47c 平良市（→宮古島市）
- 47d 石垣市
- 47e 八重山郡与那国町